

平成29年度  
広島県合同輸血療法研修会

# 輸血のチーム医療の中で頑張る看護師



*Mayumi Matsumoto*

## 「輸血のチーム医療の中で頑張る看護師」

1. 日本輸血・細胞治療学会 学会認定・臨床輸血看護師制度について
2. 輸血看護師としての院内活動
3. 輸血医療チームとは
4. 輸血看護師に期待する役割
5. 兵庫県合同輸血療法委員会ワーキンググループの活動

# 学会認定・臨床輸血看護師制度

## 制度の目的

院内で行われる輸血医療の安全性を高める

患者に最も近いところで、輸血業務に関与する看護師に  
輸血に関する正しい知識と技術  
安全性の向上に寄与することができる看護師を  
育成する為に制度として発足

日本輸血・細胞治療学会ホームページより

# 受験申請資格（2017年度）

- 1) 看護師
- 2) 輸血治療を行っている施設の看護師
- 3) 通算3年以上の臨床経験
- 4) 所属長（看護部長またはそれに代わる者）、及び輸血責任医師、それぞれの推薦書が必要
- 5) 過去3年間に日本輸血・細胞治療学会、日本血液学会、日本外科学会、日本産科婦人科学会、日本麻酔科学会、日本看護協会の主催、又は共催した学会、講演会および研修会などへの参加、輸血に関する著書があることが望ましい。

日本輸血・細胞治療学会ホームページより

# 学会認定・臨床輸血看護師制度

	受験者	認定率
2010年	136名	97.8%
2011年	157名	97.5%
2012年	163名	98.2%
2013年	184名	94.7%
2014年	107名	94.6%
2015年	199名	95.6%

日本輸血・細胞治療学会誌より

# 2017年度 認定試験

2017年 6月1日～7月31日	受験申請受付
8月	受験資格審査結果の通知
9月	講習会、筆記試験の日時が連絡される
11月4、5日	講習会1日、筆記試験（毎年場所が違う）
11月下旬	筆記試験合格者に、指定施設での研修日時が連絡される。
2018年1～3月上旬	指定施設での研修1日間
4月	認定

日本輸血・細胞治療学会ホームページより

# 輸血医療への看護師の思い

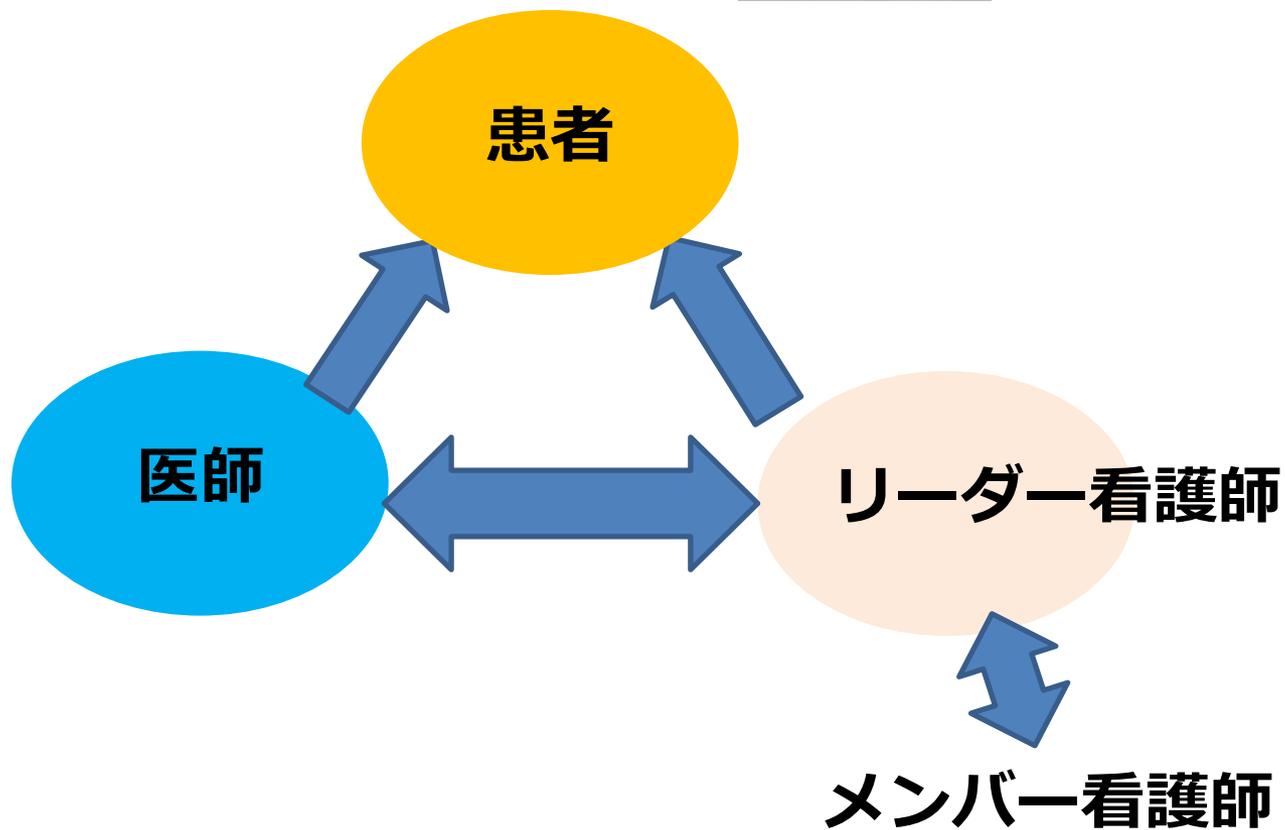
生きるために輸血を必要とする

患者を直視し

重要な治療に携わっているという認識が

安全な輸血医療への行為に繋がっています

# 輸血の適応をチームで検討する



# 携帯用 血液型カード

血液型カード	
シンコウ メディオ	
氏名：神鋼 メディオ 昭和55年2月22日生	
ABO式：判定保留	オモテ試験：判定保留
Rho(D)：陽性	ウラ試験：O型
移植年月日：2013年1月23日	
ドナー血液型：(AB+) 患者血液型：(O+)	
輸血は、赤血球製剤O型、血漿：血小板製剤AB型を使用。	
※輸血を受けられる際には再度血液型の検査を受けて下さい。	
検査日：2013年3月13日	医療法人社団神鋼会神鋼病院

血液型不一致の造血幹細胞移植を受けられた患者様にこのカードをお渡ししています。  
表記の記載事項についてご不明な点がございましたら下記にご連絡下さい。

医療法人社団神鋼会神鋼病院  
血液内科  
主治医：神鋼 A男  
TEL078-261-6711

**医師**：血液型検査依頼

**検査技師**：血液型検査、カード作成

**輸血看護師**：カードの説明

# 輸血副作用の看護記録

看護部・輸血療法委員会と検討して  
電子カルテのテンプレートを利用した輸血看護記録を作成

The screenshot shows a software window titled "輸血副作用" (Transfusion Side Effects). The interface includes a menu bar with "ファイル(E)", "編集(E)", and "挿入(I)". Below the menu is a "製剤種:" (Preparation Type) section with radio buttons for "FFP", "RBC", "PC", and "自己血" (Autologous blood). The main area is divided into time intervals: "開始前" (Before start), "開始5分後" (5 min after start), "15分後" (15 min after start), "終了時" (At end), and "6時間後" (6 hours after). The "終了時" (At end) section is active, showing fields for "日時" (Date and Time) and "観察" (Observation) with input boxes for T, P, BP, and SpO2. A "副作用" (Side Effects) section has radio buttons for "なし" (None) and "あり" (Yes), followed by a list of 17 symptoms with checkboxes. At the bottom, there is a "確認者:" (Checker) field and three buttons: "クリア" (Clear), "キャンセル" (Cancel), and "カルテに展開" (Expand to chart). A "TAB1" tab is visible at the bottom left.

輸血副作用

ファイル(E) 編集(E) 挿入(I)

製剤種:  
 FFP  RBC  PC  自己血

開始前 開始5分後 15分後 終了時 6時間後

【終了時】

日時  
日  時  :

観察  
T:  P:  BP:  /  mmHg SpO2:

副作用  
 なし  
 あり

<input type="checkbox"/> 1) 発熱(≥38℃、輸血前値から≥1℃上昇)	<input type="checkbox"/> 10) 頭痛・頭重感
<input type="checkbox"/> 2) 悪寒・戦りつ	<input type="checkbox"/> 11) 血圧低下(収縮期血圧≥30mmHgの低下)
<input type="checkbox"/> 3) 熱感・ほてり	<input type="checkbox"/> 12) 血圧上昇(収縮期血圧≥30mmHgの上昇)
<input type="checkbox"/> 4) そうよう感・かゆみ	<input type="checkbox"/> 13) 動悸・頻脈(成人:100回/分以上)
<input type="checkbox"/> 5) 発赤・顔面紅潮(膨隆を伴わない)	<input type="checkbox"/> 14) 血管痛
<input type="checkbox"/> 6) 発疹・じんま疹(膨隆を伴う)	<input type="checkbox"/> 15) 意識障害
<input type="checkbox"/> 7) 呼吸困難(チアノーゼ、喘鳴、呼吸状態悪化等)	<input type="checkbox"/> 16) 赤褐色尿(血色素尿)
<input type="checkbox"/> 8) 嘔気・嘔吐	<input type="checkbox"/> 17) その他
<input type="checkbox"/> 9) 胸痛・腹痛・腰背部痛	

確認者:

クリア キャンセル カルテに展開

TAB1

# 輸血機能評価認定制度（I&A制度）

**I&A**とは  
**inspection**（点検）して**accreditation**（認証）するシステム

各施設において、  
適切な輸血管理が行われているか否かを  
第三者によって点検し、安全を保障する

## 輸血監査チェックリスト項目

旧I&A制度 620項目



新I&A制度 78項目（2018年1月～）

日本輸血・細胞治療学会ホームページより

# I&A制度 受審に向けて①

① 2015年12月 輸血療法委員会に提案

## 受審メリットをアピール

- ・ 病院医療機能評価受審後でマニュアルが整備されている
- ・ 新制度に移行して認定取得のハードルが下がった

② 2016年1月 委員会でI&Aについて説明

③ 2016年2月 輸血療法委員会委員長より病院幹部会へ打診

④ 2016年3月 外部講師を招き輸血研修会開催 98名参加

# I&A制度 受審に向けて②

- ⑤ 2016年4月 病院幹部会承認  
ワーキンググループ (WG)立ち上げ

WGメンバー：輸血療法委員会委員長  
認定輸血検査技師 1名  
輸血担当検査技師 2名  
臨床輸血看護師 2名

- ⑥ 2016年5月～7月 WGより認定困難な項目や改善を必要とする内容を  
委員会で報告し検討した

- ・年2回以上の院内監査の実施
- ・医師の輸血記録が不十分
- ・輸血終了後の製剤バッグの保管が不十分
- ・輸血搬送用ケースの統一
- ・輸血マニュアルの修正 など

# I&A制度 受審に向けて③

- ⑦ 2016年8月 院内監査実施（血液内科病棟）  
医療安全委員会、看護部からの動員を要請
- ⑧ 2016年10月～12月 院内プレサーベイ3回実施
- ⑨ 2016年12月 I&A受審 視察員4名（医師1名、臨床検査技師3名）
- ⑩ 2017年1月 視察結果  
認定必須事項について改善の余地あり  
3か月を目安に改善して再審査
- ⑪ 2017年4月 I&A再審査  
再視察員3名（医師1名、臨床検査技師2名）
- ⑫ 2017年5月 I&A認定

# 輸血チーム医療に関する指針

経緯（一部抜粋）

…輸血医療に携わる医師・看護師・臨床検査技師が、その高い専門性を用いて業務を分担し連携・補完し合い、輸血管理及び実施体制を構築するチーム医療が重要である。

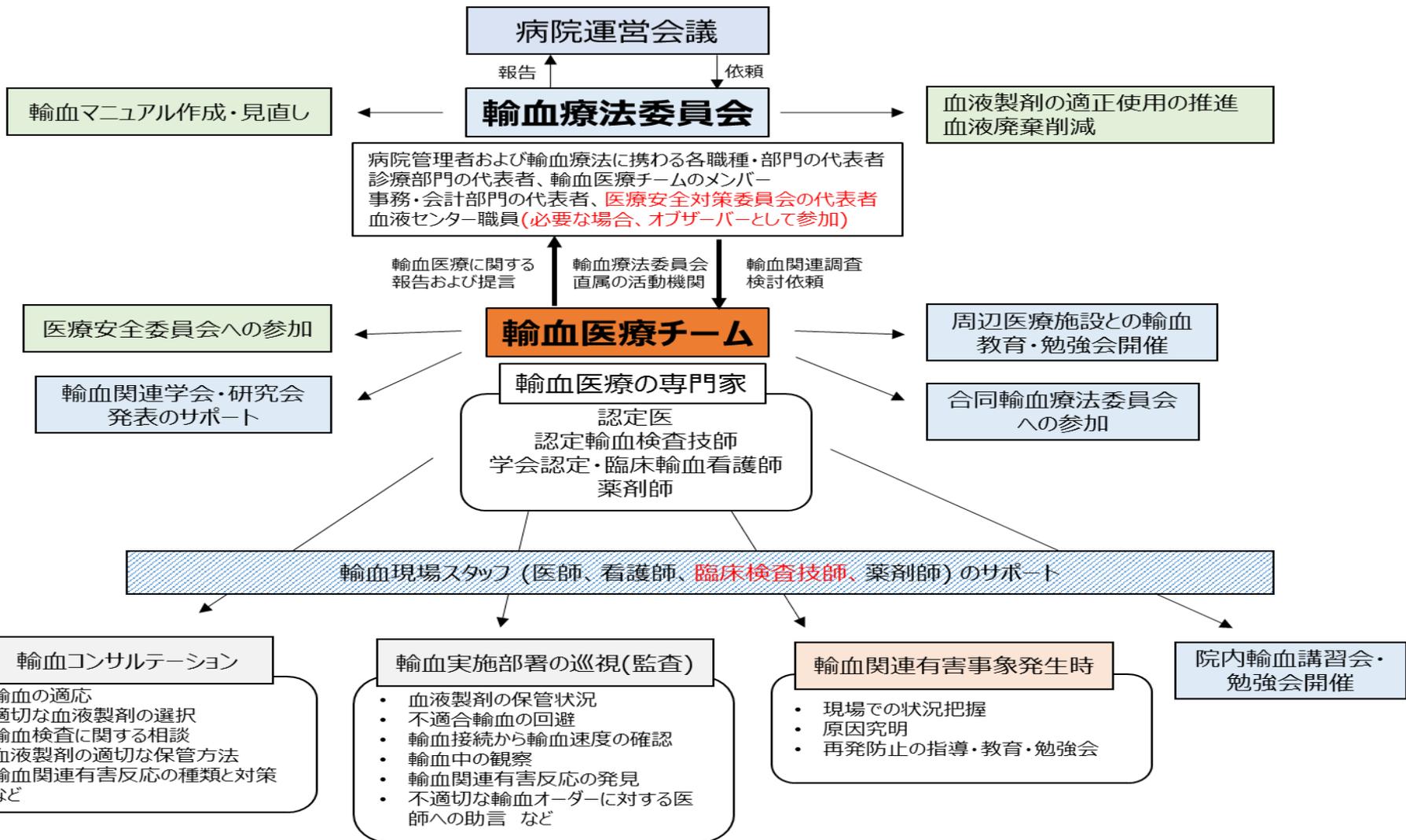
輸血チーム医療に関する指針

輸血チーム医療に関する指針

一般社団法人日本輸血・細胞治療学会  
輸血チーム医療に関する指針策定タスクフォース

初版：2017年1月11日  
第二版：2017年7月12日  
第三版：2017年9月16日  
第四版：2017年11月13日  
第五版：2017年12月25日

# 輸血医療チームの役割（イメージ図）



輸血チーム医療に関する指針：日本輸血細胞治療学会

# 輸血医療チーム

## 輸血医療チームは輸血医療の専門家集団である！

1. 輸血医療チームは周辺地域の輸血医療の発展にも寄与する
2. 輸血関連有害事象発生時には、輸血医療チームが輸血医療の現場スタッフと共に、事実関係を明らかにし、再発防止に努める
3. 院内巡視（監査）を年1回以上行い、安全で適正な輸血医療を指導・教育する
4. 輸血療法委員会共同で必要に応じて、院内研修会・勉強会を企画し実施する

# 兵庫県合同輸血療法委員会

平成25年度

- 兵庫県合同輸血療法委員会 発足

平成26年度

- 委員長より下部組織として  
臨床検査技師ワーキンググループ（WG）と  
看護師WG設置が提案される

平成27年度

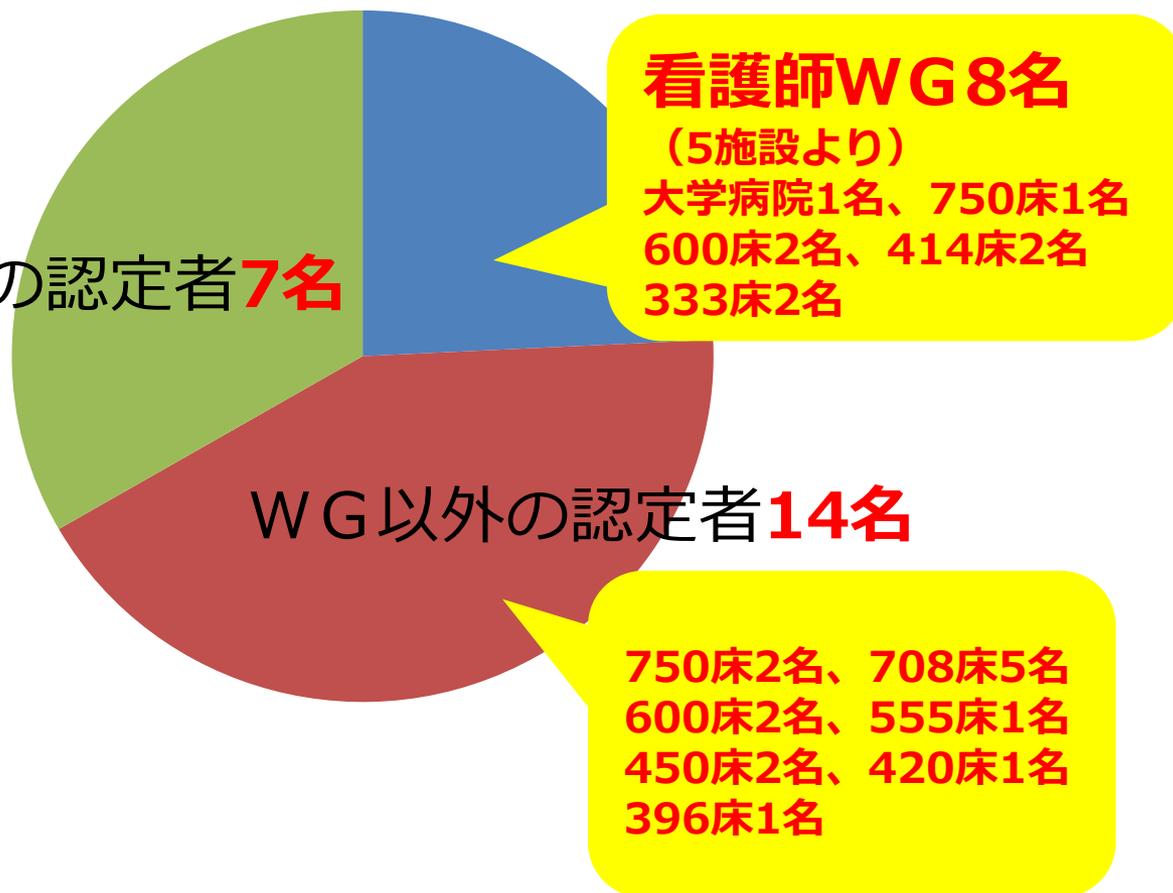
- 委員会承認  
臨床検査技師WG、看護師WG活動開始

# 看護師WGの構成

兵庫県

臨床輸血看護師 認定者数 **33名** (2010年～2016年度)

認定更新せず**4名**  
在籍施設・住所不明の認定者**7名**



# 看護師WGの情報伝達ツール

## 無料スマホアプリ

「●●●●●Live」使用

- ・チャット
- ・掲示板
- ・スケジュール管理
- ・ファイル共有

WG班長は、

合同輸血療法委員会（年3回）出席



班員に伝達

兵庫県合同輸血療法委員会

# 兵庫県 血液製剤使用量等調査

## <調査内容>

1. 輸血療法委員会を設置状況
2. 輸血部門を設置状況
3. 血液製剤使用量比
4. 血液製剤廃棄率

平成25年度 調査対象病院数	250施設		
回答病院数	233施設	回答率	93.2%
小規模 (20~199床)	176施設		
中規模 (200~499床)	51施設		
大規模 (500床以上)	6施設		

# 兵庫県 平成25年度血液製剤使用量等調査

## <一部抜粋>

### ① 輸血療法委員会の設置

回答233施設中の82%（190施設）が設置

病床規模別 小（76%）中（100%）大（100%）

### ② 廃棄量

病床規模別 小（2614単位）中（4508単位）  
大（400単位）

### ③ 各病院における事故・副作用報告数が増加している

兵庫県合同輸血療法委員会

# 兵庫県合同輸血療法委員会の方針

(平成27年度、28年度)

「県内の中小規模病院における輸血療法実施体制の確立と  
血液製剤の適正使用の推進」

(血液製剤使用適正化方策調査研究事業 採択)

(平成29年度) 採択

「兵庫県内の無床診療所における輸血療法の  
標準化と血液製剤適正使用の推進」

# WGの活動

「WG合同研修会」  
「輸血医療従事者研修会」  
「兵庫輸血ミーティング」

## 1. 研修会の開催

2. 地域医療  
機関への教育

出張輸血研修会の実施

3. 輸血監査を  
広める

中小規模施設向け  
「輸血監査チェックシート」  
作成と運用

兵庫県合同輸血療法委員会

# WG合同研修会

- 日時：平成27年8月8日（土）14時～17時30分（予定）
- 場所：日本赤十字社兵庫県支部（兵庫県赤十字血液センター）7階大会議室
- 内容：1. 輸血用血液製剤の取り扱いについて  
坊池 義浩 先生  
（兵庫県合同輸血療法委員会臨床検査技師ワーキンググループ）
2. 輸血における患者観察の重要性について  
長谷川 清美 先生  
（兵庫県合同輸血療法委員会看護師ワーキンググループ）

休憩（20分）

3. 安全な輸血手技について（講義と実技）  
～予測・予防型の安全対策 T-PAS～  
力武 隆司 先生（テルモ株式会社）

- 参加費：臨床検査技師会 会員 500円 非会員 2,000円（看護師は500円）
- 募集人員：100名
- 申込方法：特になし
- 主催：公益社団法人兵庫県臨床検査技師会、兵庫県合同輸血療法委員会

# WG合同研修会



参加者 72名

- ・ 臨床検査技師 57名
- ・ 看護師 15名



兵庫県合同輸血療法委員会

# 地域医療機関への支援



地域医療機関から**輸血看護師**に、  
輸血医療・看護の話をして欲しい。

テーマ

「看護師の立場から見た輸血医療の安全対策」

など

兵庫県合同輸血療法委員会

# 輸血監査を広める

(I&A) : 抜粋

学会主導の方法をもとに、35項目を選定した

**兵庫県独自の「輸血監査チェックシート」**を作成

輸血管理体制と輸血部門	4 (項目)
血液製剤管理	2
輸血検査	6
<b>輸血計画</b>	<b>5</b>
<b>輸血確認</b>	<b>4</b>
<b>輸血実施</b>	<b>10</b>
<b>輸血副作用</b>	<b>4</b>

**看護師が関与  
23項目**

兵庫県合同輸血療法委員会

# 各部門の連携

## 兵庫県合同 輸血療法委員会

- 県内の医療機関に「輸血監査チェックシート」を配布

## 看護師WG

- 「輸血監査チェックシート」の試験運用
- 県内の輸血看護師に協力を要請

## 臨床検査技師WG

- 兵庫県臨床検査技師会に協力を要請

兵庫県合同輸血療法委員会

# 輸血監査チェックシートを活用調査

輸血監査チェックシート送付医療機関	280施設
チェックシート回収	194施設
有効回答施設	188施設
回収率	69.3%

(一部抜粋)

## 項目「輸血計画」

- ・小規模病院ほど、輸血前検体の保管が行われていない

## 項目「輸血実施」

- ・小規模病院では最初の5分のベッドサイドでの患者観察や記録が不十分

## 項目「輸血副作用」

- ・中小規模病院では、輸血副作用の診断治療等の準備が十分でない。

兵庫県合同輸血療法委員会

# Hyogo Prefecture

## 合同輸血療法委員会における 輸血看護師の役割

- 輸血療法の看護実践モデルになる
- 輸血教育を行う
- 各医療機関の実情に合わせた安全な輸血医療を支援する